

JGA 全国通訳案内士研修テキスト【3】 関西(広島・中部)

エリア別案内マニュアル

改訂 2025 年 1 月

目 次

1. 実習にあたって	1
2. 大阪	4
3. 京都	12
4. 奈良	42
5. 姫路城	54
6. 広島・宮島	56
7. 中部（金沢・高山・名古屋・伊勢、および周辺エリア）	70

この冊子は、一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）の全国通訳案内士新人研修会をはじめとする研修のテキストとして使用しています。

本テキストは 2025 年 1 月 10 日現在のデータ・事情に基づいて編集しています。施設の環境や各種サービス、規則等の運用ルール、その他の諸事情は、刻々と変わっていきます。常に下見や確認をし、最新の情報を得るよう心がけてください。特に 2024 年以降は各種料金の値上げ、電子チケットの導入、サービスや手続きの無人化（自動化・セルフサービス化）が目立っています。なお、本テキストに記載した施設・サービスの中には、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行による観光客の激減や国際航空便の減便の影響、また、感染拡大防止措置の観点から一時的に休業・閉鎖したり、サービスを縮小・変更・休止したりしていたものがあります。2023 年以降、インバウンドを含む観光が急速に回復しましたが、施設・サービスの再開状況はさまざまです。人手不足によりサービスが縮小されたままのケースもあります。利用する前に必ずその時点での状況を確認してください。なお、本文中では関連する状況・事情を「コロナ禍」と短縮して表記しています。

【二条城】 ☎075-841-0096

1603年徳川家康築城、1626年家光による大改修で現在の規模に拡張された。現存する唯一の徳川将軍御殿を有する。第15代将軍徳川慶喜が、1866年二の丸御殿で将軍宣下を受け、翌1867年大政奉還を發表。二の丸御殿は武家の書院造り建築であり、寛永期の狩野派絵師によるものを含め3,600面の障壁画が残る。城館と障壁画が一体として保存された貴重な例。内、1,016面が重要文化財に指定されている。現在は御殿室内の障壁画は全て復元模写画に替わっており、オリジナルの障壁画は収蔵庫内で保管され一部は順次入れ替えて公開されている。

案内要領 (団体) :

- ・見学所要時間は混み具合・説明内容によるが、二の丸御殿で通常30~40分必要。二条城全体で最低1時間、余裕をもつと全体で1時間半程度。2019年4月より、二の丸御殿に入るには、「入城料」に加え「二の丸御殿観覧料」が必要となった。入城料のみのチケット(建物外観と庭園)と、入城料+二の丸御殿観覧料のチケットと2種あるので注意する。
- ・2023年の繁忙期にはチケット購入の待ち行列ができることもあった。

入城 :

- ・入退場は東大手門1カ所のみ。
- ・チケット売り場は、東大手門に向かって右側。QRコードが入り、入口で提示する。団体の場合、お客様にはチケット売り場横の入口前(団体と個人とで入口が分かれている)で待ってもらおう。団体券の場合、係員に提示し、人数を確認しながら入る。全員が入城するまでガイドは先に進まず立ち会うよう求められる。個人券の場合は各自で提示。個人券・団体券とも、二の丸御殿に入る場合は再度チケットのQRコードの確認があるため、紛失しないよう注意。
- ・団体料金(30名以上)適用以下の人数の団体でも、ある程度的人数がいたら、二の丸御殿は団体入口から入るよう、入城の際に指示される。(団体料金適用以下の人数でも、窓口で買う場合、団体で1枚のチケットとして発券可能。二の丸御殿に個々に入場したい場合は、時間はかかるが、1人1枚ずつの発券もできる。)
- ・見どころは、二の丸御殿と二の丸庭園。後でフリータイムを取る場合には、案内図などを使って、配置図と戻り道を確認しておく(東大手門より入って少し先に案内絵図がある)。出口は東大手門のみであることを強調。(二の丸の先、本丸まで行ってしまった場合、戻るのに時間がかかる。)
- ・東大手門を入れてすぐのところにパンフレット置き場がある。日・英・中(簡・繁)・韓・西・仏の7か国語。
- ・東大手門を入れて左方向に進み、唐門をくぐると二の丸御殿が現れる。二の丸御殿を先に見学、二の丸庭園はフリータイム中に各自で見学とする場合には、ここで庭園への入口を示しておく。
- ・時間の非常に限られた団体の場合、入城後、右方向に進み、塀に開けられた小さな入口を通ると二の丸御殿の団体入口となる(唐門を通らずに二の丸御殿に直行)。

二の丸御殿 :

- ・個人入口は唐門をくぐって正面。団体はその右手に回る。近づくと、係員に下足箱の番号を指示される。傘は同じ番号の傘立てに入れる。段差が低いため、靴のまま上がらないよう注意。長い傘は持ち込み不可、濡れたままのレインコートを着用しての入場不可、折り畳み傘は御殿入口で配布されるビニール袋に入れて持ち込める。国宝の建物保護のため、案内用の旗類も棒の長いものは使用できない。杖は使用できるが、入場の際係員が杖の先を雑巾でぬぐう。

6. 広島・宮島

広島は、その歴史から訪日旅行者の関心が高い都市の一つ。強い印象を残す地でもある。海上の厳島神社と朱塗りの大鳥居の宮島の風景は広く紹介されており、旅行者が見たいと思う景色の一つ。広島県を訪れた訪日旅行者は 2019 年には 180 万人を超え、2023 年は 268 万人。トリップアドバイザー等の「外国人に人気の観光スポット」でも平和記念資料館と平和記念公園、宮島が上位にランキングされている。特に欧米豪の旅行者の関心が高い傾向とも言われる。案内表示や観光パンフレットの多言語化が進んでおり、百万都市でありながら主要訪問地は中心部にまとまっていて公共交通機関でも動きやすく、個人旅行者も比較的旅行しやすい。

日本周遊ツアーに組み込まれることも多く、宿泊滞在の他、京都・大阪から新幹線での日帰りもある。オプションツアーとして組まれることもある。学校団体や、国際交流関係の訪問団も多い。

観光内容は滞在時間によるが、「資料館を含む平和記念公園」と「宮島」が二大要素。貸切バスの場合、広島市内～宮島の移動はフェリーを入れて片道約 1 時間。平和記念公園と宮島を約 45 分で結ぶ高速船もある。1 日で両方を回れるが、日の短い季節や、京都・大阪からの日帰り観光の場合は駆け足となる。時間がある場合は広島市内、宮島それぞれの訪問先や観光要素が増える。

広島市内のみで終日観光は多くはなく、半日観光の場合は、平和記念公園+縮景園または広島城など 1 か所が一般的。被爆体験講話が入ることもある。宮島は、厳島神社のみにしぼっても、広島からの移動を含め 4 時間程度必要。食事やその他の観光要素、散策時間を含めてほぼ終日の観光とすることも多い。また、宮島と岩国の錦帯橋との組み合わせもある。

平和記念公園内と宮島内は、どちらも徒歩での観光・見学となる。そのため、団体であっても広島観光に貸切バスを使わず、市内バス（めいぷる～ぷは JR パスで利用できる）、路面電車（広電）、JR 在来線、フェリーなどを組み合わせて移動・周遊することもある。

広島県内のその他の訪問先としては、「うさぎ島」と称される大久野島（竹原市）、10 分の 1 サイズの戦艦大和が展示された呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）のある呉、西条の酒蔵、しまなみ海道（サイクリング）、などがある。2024 年には、下瀬美術館（大竹市。2023 年開館、坂茂設計）がユネスコの建築賞「世界で最も美しい美術館」部門で最優秀賞（ベルサイユ賞）を受賞した。

クルーズ船の寄港も多い。

広島へのアクセス：

新幹線：

- ・「のぞみ」で東京から約 4 時間、京都から 1 時間 45 分～2 時間、新大阪から 1 時間 25 分～1 時間 40 分。
- ・Japan Rail Pass の場合、「のぞみ」利用には追加料金でパス専用の利用券購入が必要。「ひかり」「さくら」「こだま」は「のぞみ」より便数が少なく、所要時間も長い。シーズン中は特に朝夕の時間帯は指定席が取りにくい。JR パス利用の広島行きが入っている場合は、できるだけ早いうちに、利用便の予約を確認する（同行する場合は、ガイド分の手配も必要）。東京～広島間は「ひかり」での直通はほとんどなく、乗り換えが必要。京都～広島も時間帯により直通がなく、新神戸または新大阪で乗り換えが必要となる（お客様のみの移動の場合の乗り換えは、「さくら」と「こだま」が同じホームで発着する新神戸駅ホームが分かりやすい）。

貸切バス：（長距離の場合は休憩や道路状況による差が大きいいため以下はあくまで目安。）

倉敷より 2 時間～2 時間半、姫路より 3 時間半、大阪・京都より 5～6 時間

広島空港：リムジンバスで広島駅新幹線口まで 45 分、広島バスセンターまで 55 分

広島バスセンター：県内外各方面への高速バス・路線バスが発着。紙屋町。

【高山】

飛騨山脈西側の山間に位置する。中心部は標高 573m の盆地で、冬は寒さが厳しい。古代より奈良・京都で建築に携わった「飛騨の匠」たちが持ち帰った上方の文化と、江戸幕府直轄領になって以降の江戸の文化の影響を合わせもつと言われる。直轄領となり、武士の少ない町人の町となったのも高山の特色の一つ。

金沢から高速道で約 2 時間、名古屋から特急「ひだ」で 2 時間半（大阪・京都直通便も 1 日 1 往復）。京都へも直行ならバスで 4 時間程度、安房トンネル経由で松本とも 2 時間半程度でつながり、さまざまなツアーコースに組み入れられる。なお、名古屋～高山間には 2022 年 7 月より、国交省日本鉄道大賞を受賞したハイブリッド方式の新型車両 HC85 系が運行開始した。

高山市は人口約 8 万 3 千人（2025 年 1 月）。訪日客がまだ少なかった 1986 年に国際観光都市を宣言し、積極的な誘致活動を行ってきた。多言語化やバリアフリーにも早くから取り組み、ATM、Wi-Fi などの受け入れ環境整備にも積極的。徒歩で回れる規模の古い町並み、朝市、周辺の里山などが訪日客に人気となり、2019 年の外国人宿泊者は 61 万人。台湾をはじめアジアからが 56% を占めるが、ヨーロッパ 23%、北米 7%。イスラエルからのツアーにも人気で 1 万 2 千人が訪れている。個人旅行者に加え、近年は団体ツアーが急増しており、観光シーズンには混雑する。高山市公式観光サイト、案内所やホテルで無料配布されている「飛騨高山ぶらり散策マップ」は、タイ語、ヘブライ語を含む 11 言語がある。

「飛騨の小京都」と呼ばれる中心部は徒歩での観光となる。中心部に近いバス駐車場は神明駐車場、高山別院駐車場、屋台会館駐車場のみのため、見どころをどう組み合わせるか、観光順序とバスの乗降場所を考える必要がある。古い町並みに近い神明駐車場は繁忙期には満車で入れないこともある。（古い町並みへの観光車両集中が問題となっており、2024 年 6、7 月の約 1 ヶ月、神明駐車場で観光バス受け入れを休止する実証実験が行われた。今後の動きに注意。）

一位一刀彫り、透き漆で木目を生かした春慶塗など伝統工芸品も多い。飛騨地方の郷土人形「さるぼぼ」は町中で見られる。また、飛騨の匠の伝統を現代に継承するモダンな家具の店やショールームもある。食では飛騨牛や朴葉みそが名物。高山ラーメンも人気。

高山祭

高山祭は、4 月 14 日・15 日の日枝神社例祭（春の山王祭）と 10 月 9 日・10 日の櫻山八幡宮の例祭（秋の八幡祭）の総称。屋台と呼ばれる豪華な山車の曳き揃え、神輿の巡幸などが行われる。祭り期間中は交通規制が行われ、駐車場の利用も通常と異なるので注意。祭り以外の時に屋台を保管する屋台蔵が市内各所で見られる。

「古い町並み」

商人町として発達した上町から下町にかけての三筋の町並み。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。出格子の町家、老舗商店、酒ばやし（杉玉）の下がる造り酒屋などが建ち並ぶ。土産物や民芸品、手工芸品、茶道具や骨董などを扱う店も多い。飲食店や名物の飛騨牛の串焼きや飛騨牛握り鮓、飛騨牛コロケ、みたらしだんご、五平餅、などを売る屋台も増えた。

朝市（宮川朝市、陣屋前朝市）

古くから続く朝市。鍛冶橋から弥生橋までの宮川沿い（2020 年に 2 つの橋の間に歩行者専用の行神橋がかけられた）で開かれる宮川朝市と、高山陣屋前の広場で開かれる陣屋前朝市がある。近在の農家など地元の人が季節の果物・野菜などの農産物、花、自家製の味噌や漬物、餅、手工芸品などを売る屋台が並ぶ。荒天時を除き原則毎日開かれるが、店舗数は季節により増減する。4～11